



8月の防犯対策



平成30年8月1日

(公社) 滋賀県防犯協会

子どもたちを守るために

一人だけじゃない
目を離さない

本年五月、新潟県で小学一年生の女児が殺害されるとい痛ましい事件が発生しましたが、子どもに関係する事件事故は、いっどこで発生するかわかりません。常日頃から子どもの防犯意識を高め、「危険をいち早く察知し、避難する能力」を持たせることが重要です。
また、子どもを犯罪者から守るのは大人の役目です。
子どもを事件事故から守るため、地域での子どもの見守り活動や、各種防犯活動への積極的なご参加をお願いします。



親が心掛けること

犯罪者が狙うのは、子どもが「一人にいるとき」です。
塾通いなどで帰宅時間が遅くなる時は、できるだけ親が迎えに行くようにしてください。
また、買い物途中も、子どもを一人にしないようにしてください。子どもにスローパーや公園のトイレを利用させるときは、トイレの出入口近くで待つようにしましょう。
子どもに教えること
子どもが自分で自分の身を守ることでできるよう、人の出入りが少ない駐車場や公衆トイレ、空き屋や工事現場など、犯罪者に狙われやすい危険な場所を教え、近づかないように言い聞かせましょう。
また、知らない人についていけないこと、無理矢理連れて行かれそうになったら、車に乗せられそうになったときには、大声を出すことなどを教えて下さい。



騙されたらあかん

下の新聞記事（七月一日・中日新聞朝刊）にも掲載されているとおり、最近、警察官等を名乗った者から電話があり、その後、自宅を訪れた犯人にキャッシュカードを騙し盗られる事案が発生しています。
この手口については、今後、多発するおそれがありますので、注意してください。
金融庁や銀行協会の職員が来て、キャッシュカードや通帳を預かることは絶対にありません。

●キャッシュカード盗まれる 甲賀署は9日、湖南市内の無職女性(78)がキャッシュカード2枚を盗まれたと発表した。署は17日電話詐欺関連事件として捜査している。
署によると、今月5日、女性宅に警察を名乗る男が電話があり、「詐欺犯を逮捕したが、リストにあなただの名前が載っている。キャッシュカードを封印させて」と言われた。女性は自宅を訪れた金融庁を名乗る女にカードを手渡し、「カードを封印した」として封筒を返却された。
女性が9日になって封筒の中を確認したところ、別のカードが入っていた。女性が印鑑を取りに行ったときにすりかえられたとみられる。口座からは150万円が引き出されていた。

「オレオレ恐喝」に注意!

オレオレ恐喝とは、「お宅の子どもが交通事故を起こした。」などと電話をかけてきて、「車が傷ついたがどうしてくれるんだ!」等とすごんだり、「このまま子どもを返さないぞ!」などと脅したりして、指定した銀行等の口座に現金を振り込ませる恐喝事件です。
「オレだけだ。」と切り出し「実は、事故を起こして相手の人につかまっている。助けて!」などと続けることもあることから、「オレオレ恐喝」と呼ばれます。
過去には、学校に通う児童を持つ保護者の家に「子どもを誘拐した。すぐにお金を振り込め。」という電話がかかってきた事案もありました。
この犯罪は、相手の言う『事故』や『誘拐』など

被害に遭わないための防犯対策と対応
☆ ご家族の連絡先を知っていますか? 実際には事件に巻き込まれている場合も考えられるので、必ず、それが事実かどうか確認しなければなりません。
そこで、緊急時の連絡先として、本人の携帯電話番号や勤務先の電話番号、友人の連絡先などを把握しておき、いつでも確実に連絡が取れるようにしておきましょう。
☆ 本人の電話がつかないなど、連絡先がわからない場合など、連絡が取れない場合には、すぐに警察に相談してください。



は全くの作り話ですが、電話を受けた人が、恐怖の余り相手の言うままに行動してしまい被害にあつていきます。
被害にあわないよう、十分注意してください。
犯行の手口
★ お子さんやお孫さん、配偶者、その他の親戚などが問題を起こしたことを告げ「口座にお金を振り込め」等と要求する。
★ 起こした問題は...
交通事故、怪我をさせた、車を傷つけた等
★ 脅しの文句は...
暴力団員を装うなどして「本人がどうなってもいいのか!」(殺す、傷つける)などと脅す。
★ 電話の向こうに、お子さんやお孫さん、配偶者等を装い「助けて」と叫ぶ声や泣く声、物が壊れる音、暴れている音などがする。
★ 「すぐに振り込め」、「警察には言うな」などと言い、一人で行動させる。
被害に遭わないための防犯対策と対応

